

Pioneer *sound.vision.soul*

ODR

RS-A70X

OPTICAL DIGITAL REFERENCE SYSTEM
BRIDGEABLE 4-CHANNEL POWER AMPLIFIER

carrozeriaX

オプティカル デジタル リファレンス システム
ブリッジャブル 4 チャンネル パワー アンプリファイヤー

RS-A70X

取扱説明書

このたびはカロツェリア X シリーズ
ODR システムをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので
保証書と一緒に大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[異常時の処置]

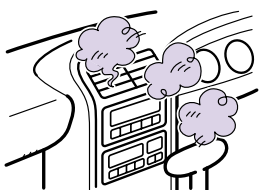
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

○	安全のために必ずお守りください 4	取り付けかた 18	○
	ご使用になる前にお読みください 7	取り付け上のご注意 18	
	本書のマークについて 7	取り付けのポイント 18	
	保証書は受け取りましたか? 7	取り付け 19	
	安全のために 8	端子カバーの取り付け 19	
	各部のなまえと使いかた 10	故障かな? と思ったら 20	
	接続のしかた 12	保証書とアフターサービス 21	
	接続図 12	仕様 22	
	システム構成例 13		
	スピーカーの接続 14		
	電源端子の接続 17		

ご使用になる前にお読みください

本書のマークについて

本書の中には次の2つのマークが使用されています。



危険防止のために絶対に行わないでください

使いかたを誤ると危険をおよぼす可能性のある事項が記載されています。



故障を防ぐために必ずお守りください

使いかたを誤ると故障の恐れがある事項が記載されています。

保証書は受け取りましたか？

保証書にお買い上げの販売店名、住所、ご購入年月日が記入されていない場合は、保証期間中であっても保証が無効となります。保証書は記入もれがないことをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書を紛失した場合は保証期間中であっても保証が無効となりますので、大切に保管してください。

安全のために

感電事故を防止するために

濡れた手では本機を触らないでください。感電する恐れがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。

音量は控えめに

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

「RS-A70X」は高温に注意してください

ODRシステムの使用中や使用後10分程度は、「RS-A70X」が高温になりますので、次のことにご注意ください。

- * 本機に直接触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- * 熱に弱い物（例：ビニール製品）を近づけないでください。変形する恐れがあります。
- * 本機の放熱効果が損なわれるため、本機の前後左右および上には絶対に物を置かないでください。

安全にご使用いただくために

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。（バッテリーパワーコードのヒューズは30A × 2で、本体のヒューズは25A × 2です。）

本機およびスピーカーの故障を防止するため、本機に異常が発生すると、保護回路が働き本機がOFFになります（音が出なくなります）。このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護回路が働いた原因を解決してください。

ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続・取り付けに関するご注意

接続 / 取付の作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

本機の放熱効果を損なわないように、次のことに注意して取り付けてください。

- * 本機の前左右および上部には十分なスペースをあげ、通風を良くしてください。
- * フロアマットやカーペットなどで本機を覆わないでください。

バッテリーあがりを防止するため

車のエンジン停止中や5分以上のアイドリング中は、ODRシステムを使用しないでください。（システムの電源をOFFにしてください。）

車のバッテリーが消耗している場合は、ODRシステムを使用しないでください。

ODRシステムコントロールチューナー「RS-D7XII」は、バッテリーからの供給電圧をチェックしており、現在供給されている電圧が10V未満になったときは、ディスプレイ上に「---Volt」と表示されます。このような表示になった場合は、バッテリーが充電されるまでの間、本システムの電源をOFFにしてください。



接続上のご注意

本機の電源は、必ずRD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースはRD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに直接接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)

ODRシステムの電源をONにしたままで長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがる恐れがあります。アイドリング中はODRシステムの電源をOFFにしてください。

接続しない端子は金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

RD-226 (別売) の青/白リード線 (システムリモートコントロール) を、エンジンスイッチをONまたはACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、ODRシステムの電源をOFFにしても、本機の電源はOFFになりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがる恐れがあります。

スピーカーのリード線を車のボディに直接アースしたり、複数のスピーカーの⊖側リード線を共通にして接続しないでください。音が出ないことがあります。また、この状態でボリュームを上げると、本機のヒューズが切れる恐れがあります。

本システムの動作中にスピーカーなどの接続を変更しないでください。

ノイズ防止のために

バッテリーパワーコード (赤) は、スピーカーコードからできるだけ離して取り付け、配置してください。また、バッテリーパワーコード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、カーステレオ、およびナビゲーションユニットからできるだけ離して取り付け、配置してください。

アースコードの接続について

アースコードを確実に接続するため、塗装されている部分に接続する場合は、サンドペーパーなどで塗装をはがしてから接続してください。

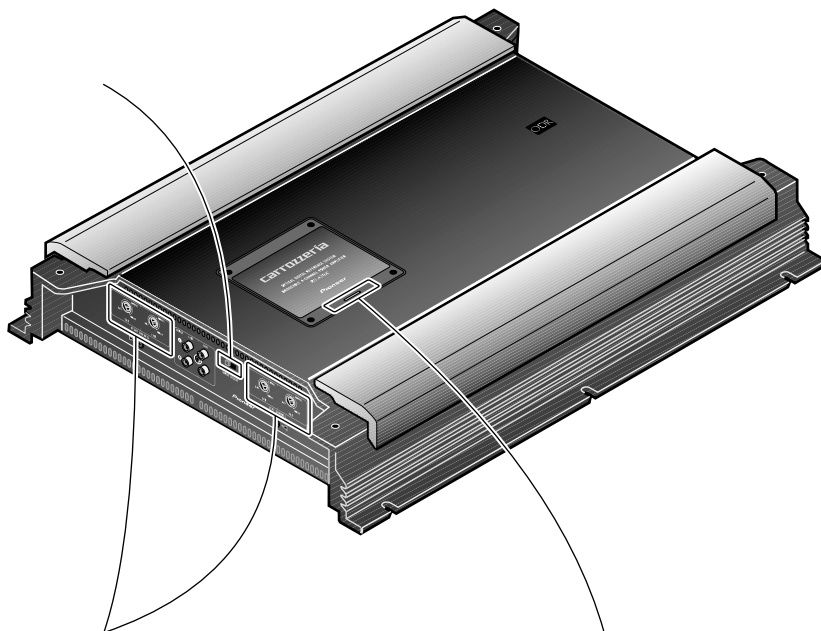
アースコードは必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、発火・発煙・破損の原因となります。なお、スピーカーのインピーダンスが2 から8 (2チャンネルや、モノラル接続など、ブリッジ接続の場合は4 から8) のものを使用してください。

スピーカー		規格 (耐入力)
チャンネル	種類	
4チャンネル	サブウーファー	定格入力 50 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 100 W 以上
2チャンネル	サブウーファー	定格入力 150 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 300 W 以上
3チャンネル スピーカー出力A	サブウーファー	定格入力 50 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 100 W 以上
3チャンネル スピーカー出力B	サブウーファー	定格入力 150 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 300 W 以上

各部のなまえと使いかた



1 ゲインコントロール

本機にはスピーカー出力 A (L ch・R ch)・B (L ch・R ch) 用ゲインコントロールがあります。ゲインコントロールは、接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるためのものです。

本機と組み合わせているカーステレオのボリュームを上げても音量が不足していると感じたときは、ゲインコントロールを右側に回します。また、ボリュームを上げたときに歪みを感じる際には、ゲインコントロールを左側に回してください。

入力 A だけを使用するときは、スピーカー出力 A (L ch・R ch)・B (L ch・R ch) 用ゲインコントロールのつまみを同じポジションにしてください。

パイオニア製の RCA 出力付きカーステレオ (基準出力電圧 500mV) と組み合わせたときは、NORMAL の位置が目安になります。RCA 最大出力が 4V 以上のパイオニア製のカーステレオと組み合わせたときは、ゲインコントロールを左側に回して調節してください。

2 入力切り換えスイッチ

入力 A だけを使用するときは、スイッチを 2 ch (左) に切り換えてください。

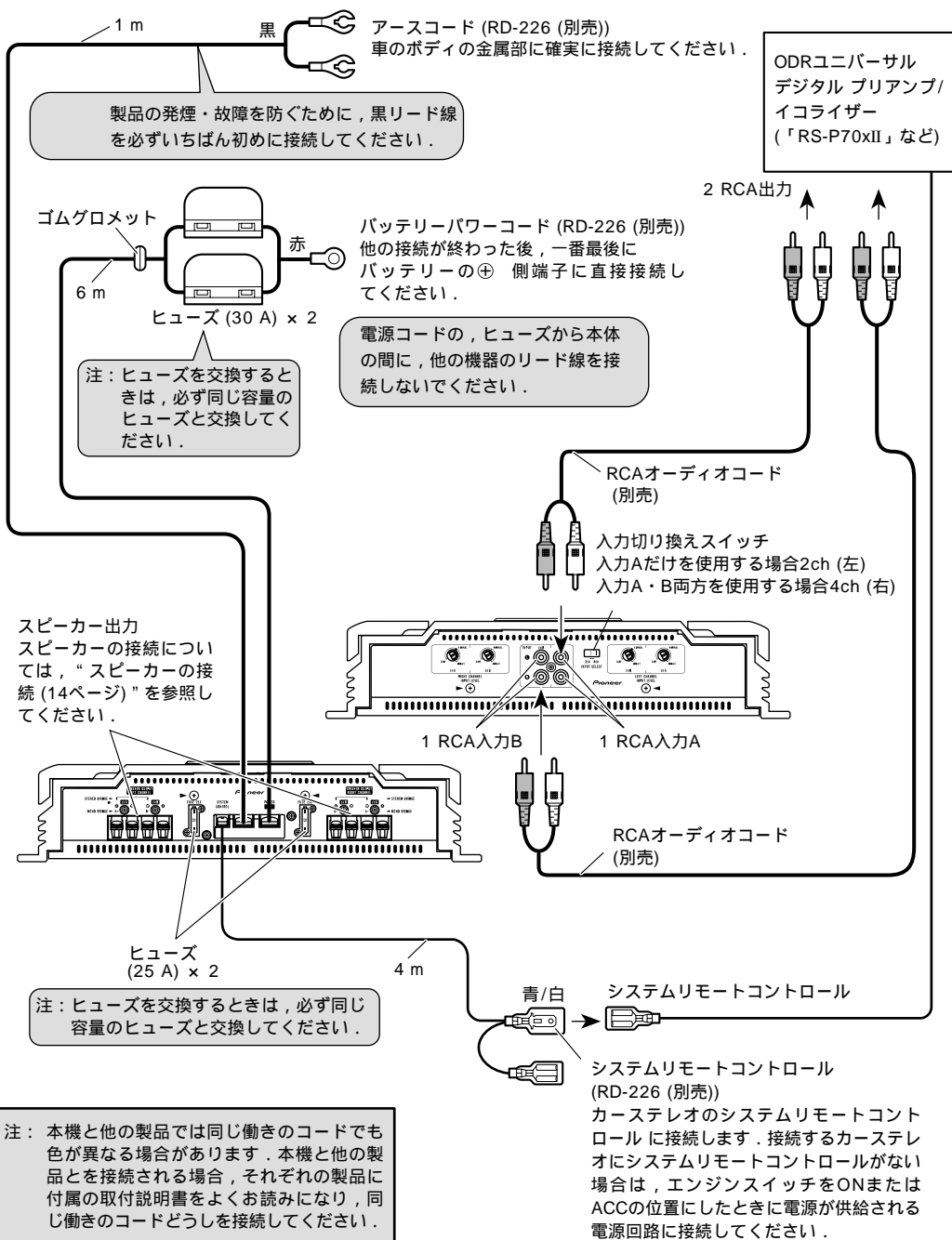
入力 A・B 両方を使用するときは、スイッチを 4 ch (右) に切り換えてください。

3 パワーインジケータ

本機に電源が入ると点灯します。

接続のしかた

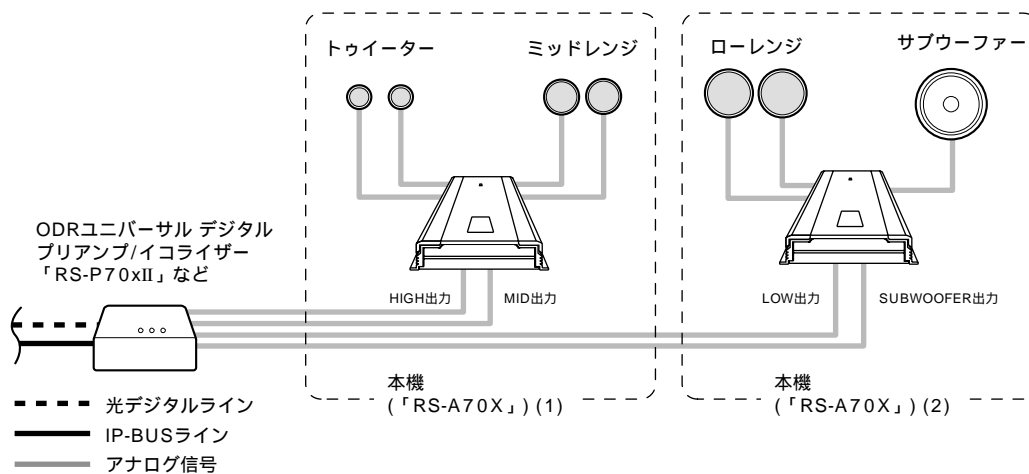
接続図



- 1 RCA入力A・Bは、システムに合わせてどちらに接続するかを選んでください。
- 2 1入力で使用するとき、RCA入力Aに接続し、RCA入力Bには何も接続しないでください。

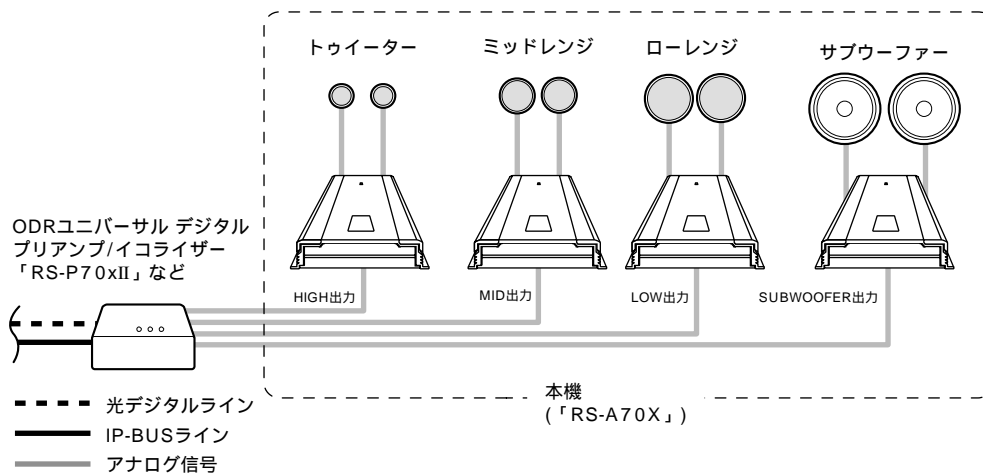
システム構成例

例 1 : アナログアンプシステム (1)



このシステムの場合、本機 (1) は 4 ch、本機 (2) は 3ch での接続になります。

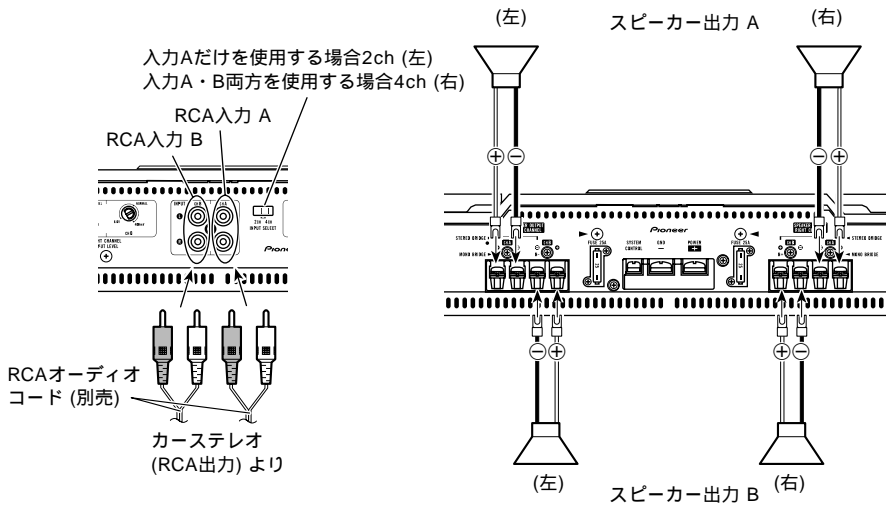
例 2 : アナログアンプシステム (2)



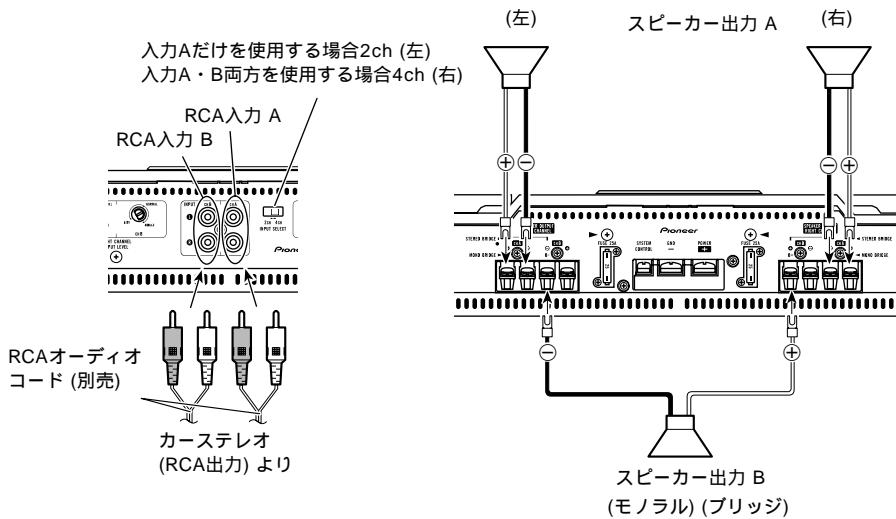
このシステムの場合、本機は全て 2ch での接続になります。

スピーカーの接続

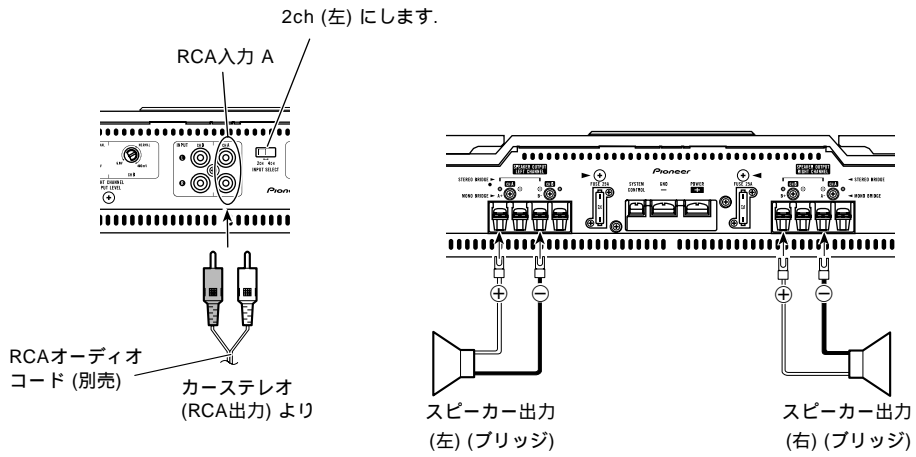
4チャンネル (ステレオ) で使用する



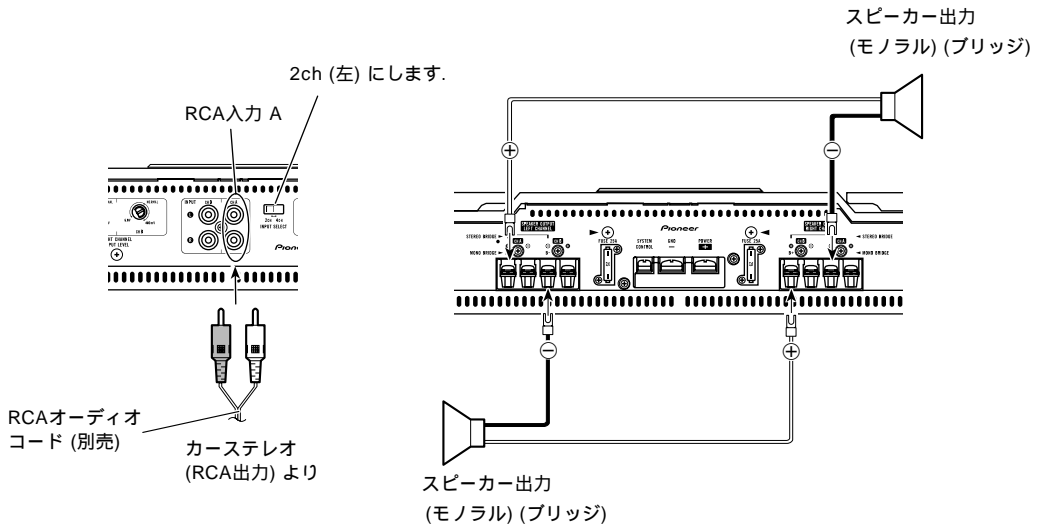
3チャンネルで使用する



2チャンネル(ステレオ)で使用する

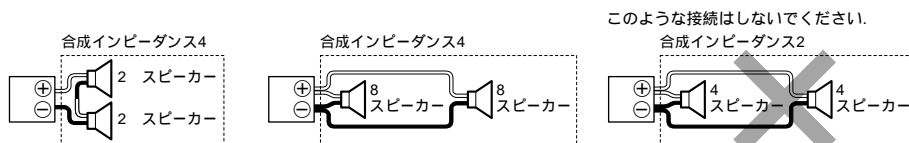


2チャンネル(モノラル)で使用する



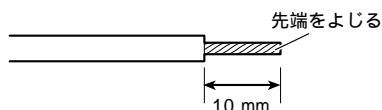
ブリッジ接続時のご注意

ブリッジ接続時にスピーカーを複数使用する場合は、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが4 から8 になっていることを確認してください。



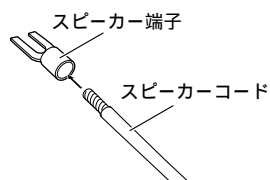
スピーカー端子の接続

- 1 スピーカーコードの芯線をニッパやカッターなどで10 mm くらい出して、芯線の先端をよじます



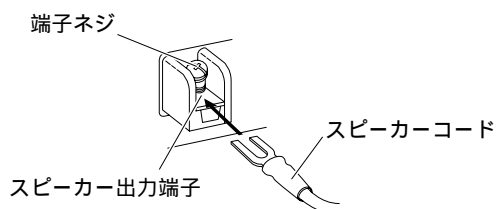
- 2 スピーカーコードにスピーカー端子を付けます

スピーカー端子はペンチなどでしっかりと付けてください。



- 3 スピーカー端子にスピーカーコードを接続します

スピーカーコードは端子ネジでしっかりと固定してください。

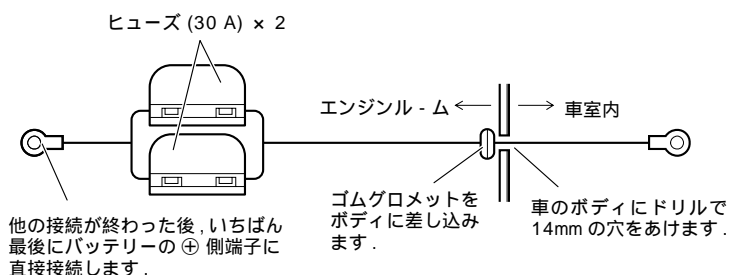


電源端子の接続

本機の電源は、必ずRD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースはRD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を完全に接続できるように設計されています。)

1 バッテリーパワーコードをエンジンルームから車室内へ通します

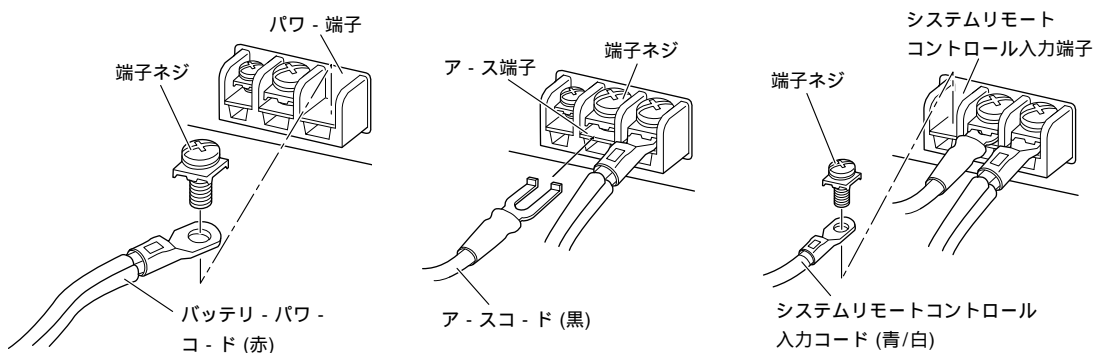
ショート事故防止のため、バッテリーパワーコードのバッテリーへの接続は、他の接続が終了した後に行ってください。



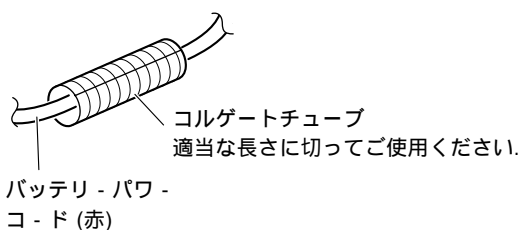
2 各端子にコードを接続します

端子ネジでしっかりと固定してください。

アース端子の端子ネジは、電源ケーブルの誤配線を防ぐため、取り外すことができません。



バッテリーなどの配置によりバッテリーパワーコードを高温となる場所に配置する場合は、RD-226 (別売) に付属のコルゲートチューブでバッテリーパワーコードを保護し配置してください。



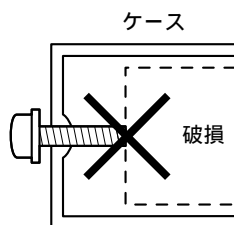
取り付けかた

取り付け上のご注意

本機はトランクルームに取り付けてください。次のような場所には、絶対に取り付けしないでください。

- * 急停車の場合に、運転者や同乗者に危険を与える可能性のある場所。
- * 運転席の足元のように、車の運転の妨げになる場所。

必ず本機および取り付けキットに付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



次のような場所には、絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * カーペットやリアシートの下など、密閉された場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

コード類はシートのスライド機構にはさまれてショートしないよう十分注意して配置してください。

本機を取り付ける際に車に穴をあける場合は、必ず裏側に何も無いことを確認してください。燃料パイプ、ブレーキパイプ、電源ハーネスなどの車の重要装備や、コード類を損傷しないように十分注意してください。

タッピングネジで取り付ける際に、ネジの先端がコード類に触れないようにしてください。車の振動でコードを切断する恐れがあり、火災の危険性があります。

感電事故を防止するため、濡れやすい所には本機を取り付けしないでください。

スペアタイヤボードの上のような、不安定な場所には取り付けしないでください。

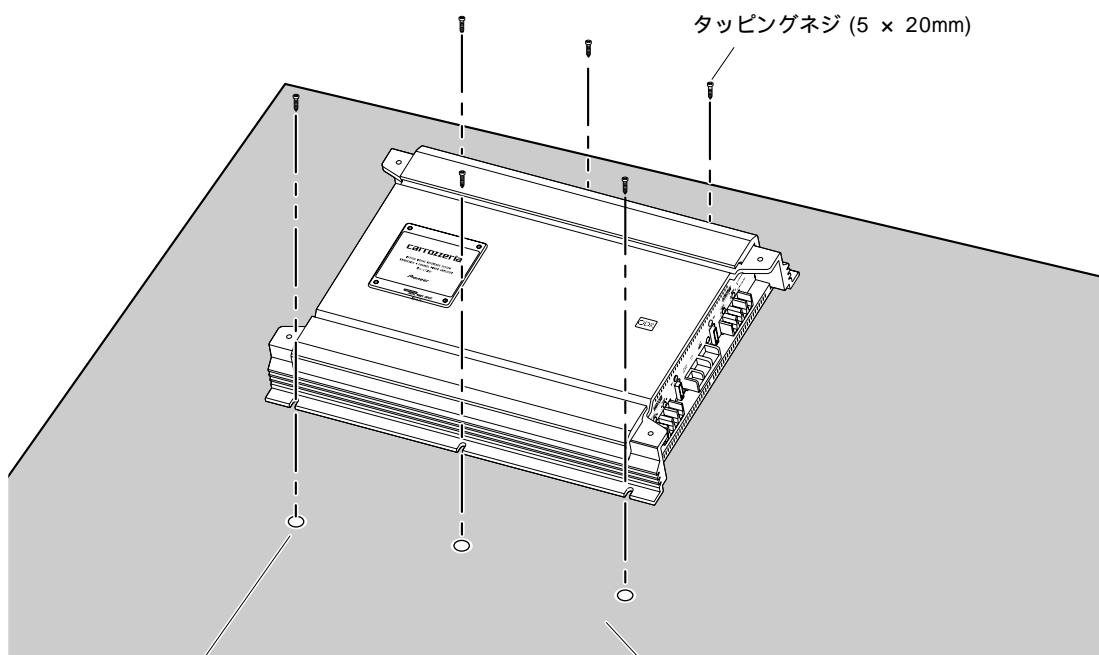
取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズは切れてないか、もう一度チェックしてください。

取り付けした状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

取り付け



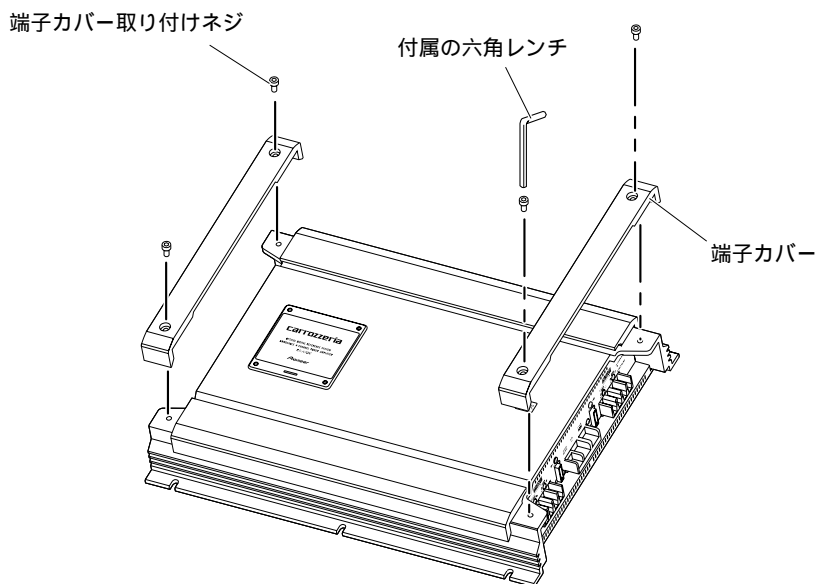
ドリルで 3~3.5mm の下穴を開けます。

カーマット

シャーシには直接取り付けしないでください。

端子カバーの取り付け

ショート防止のため、端子カバーを取り付けます。



故障かな？と思ったら

ちょっとした接続や設定のミスで故障と間違えることがあります。故障かな？と思ったらときは、次のことを行ってください。

- 1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください
- 2 接続・設定にミスがなかった場合は・・・

“保証書とアフターサービス”の項をお読みになり、修理を依頼してください。分解したり、注油することはやめてください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は、本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電源 DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V使用可能)
アース方式 マイナスアース方式
消費電流 (4 定格出力時) 31 A (無信号時) 5 A
平均消費電流 (4 ch, 4) 12 A (2 ch, 4) 16.5 A
ヒューズ 25 A × 2
外形寸法 330 (W) × 71 (H) × 433 (D) mm
重量 9.2 kg

パワーアンプ部

最大出力 100 W × 4/300 W × 2 (4)
定格出力 50 W × 4/150 W × 2 (4) 20 Hz ~ 20 kHz, 0.02/0.2% (4) 75W × 4 (2) 20 Hz ~ 20 kHz, 0.2% (2)
負荷インピーダンス 4 (2 ~ 8 使用可能)
周波数特性 10 Hz ~ 100 kHz (- 1 dB, 0 dB)
S/N比 105 dB (IHF-A ネットワーク)
高周波歪率 0.002 % (10 W, 1 kHz)
セパレーション 80 dB (100 Hz ~ 10 kHz, 20 k LPF)
スルーレート 60 V/μ sec.
ダンピングファクター 150
最大入力レベル/インピーダンス RCA : 6.0 V/22 k (400 mV ~ 6.0 V)

付属品

取付キット 1 式
取扱説明書 1
六角レンチ 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
保証書 1

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター(全国共通フリーフォン)

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00(弊社休業日は除く)

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせおよびカタログのご請求窓口

: ☎ **0070-800-8181-11**

: 【一般電話】 **03-5496-8016**

家庭用オーディオ/ビジュアル商品(PDP・DVDなど)のお問い合わせおよびカタログのご請求窓口

: ☎ **0070-800-8181-22**

カタログ請求とメールサービス登録のご案内
ファックス受付

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

: **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00(弊社休業日は除く)

電話 : ☎ **0120-5-81095**

: 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターへ(沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ)

修理受付センター(沖縄県を除く全国)

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00(弊社休業日は除く)

電話 : ☎ **0120-5-81028**

: 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション(沖縄県のみ)

受付 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

<KSNZF> <04F00000 > <CRA3572-A >